



2023年6月13日

電源開発株式会社
ENEOS株式会社
JX石油開発株式会社

令和5年度「先進的CCS事業の実施に係る調査」の候補案件への選定について

電源開発株式会社（代表取締役社長 社長執行役員：渡部 肇史、以下「Jパワー」）、ENEOS株式会社（代表取締役社長 社長執行役員：齊藤 猛、以下「ENEOS」）およびJX石油開発株式会社（代表取締役社長 社長執行役員：中原 俊也）は、3社共同で提案した案件が、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（理事長：高原 一郎）より令和5年度「先進的CCS<注1>事業の実施に係る調査」（以下「本調査」）の候補として選定されましたので、お知らせいたします。

本調査は、2030年度またはそれ以前のCO₂貯留開始を想定した先進的CCS事業の実施に係る調査として、CO₂分離回収・輸送・貯留に関する設計作業および貯留層評価等を行うものです。

3社は、西日本地域でJパワーの火力発電所、ENEOSの製油所から排出されるCO₂を分離回収・輸送・貯留するCCS事業を2030年度までに開始することを目指し、検討を進めております。2023年2月には「西日本カーボン貯留調査株式会社」を設立<注2>し、CO₂貯留候補地選定のための探査・評価などの事業化に向けた準備を推進しています。

本調査の正式採択後、3社は、これまでの事業実現可能性の検討結果<注3>などを踏まえて、分離回収・輸送・貯留に関する設備の最適化によるコストダウン検討、具体的な設計作業を通じたプロジェクトの計画精度向上、貯留層評価等を行ってまいります。

3社は、本調査を通して国内で初めての本格的なCCSバリューチェーン<注4>を2030年度に実装開始することで、エネルギーの安定供給を果たしつつ、わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成への貢献を目指します（2022年5月10日お知らせ済み<注5>）。

<注1> Carbon dioxide Capture and Storage（CO₂の回収・貯留）の略

<注2> 2023年1月26日公表「国内CCS貯留事業調査に向けた合弁会社設立の決定について」

https://www.jpowers.co.jp/news_release/2023/01/news230126.html

<注3> 2022年5月20日公表「令和4年度 国内のCO₂排出源調査ならびに国内の特定地域を対象としたCO₂回収および輸送に関する調査」の受託について」

https://www.jpowers.co.jp/news_release/2022/05/news220520_2.html

<注4> CO₂の分離・回収、輸送、圧入・貯留からなるバリューチェーン

<注5> 2022年5月10日公表「エネルギー供給のカーボンニュートラルに向けた共同取り組みについて」

https://www.jpowers.co.jp/news_release/2022/05/news220510.html

<本調査におけるCCS事業計画概要>

排出源	西日本地域のJパワー火力発電所、ENEOS製油所
輸送方式	船舶及びパイプライン
貯留候補地	九州北部沖～西部沖（海域帯水層）
貯留量	300万トン/年

以 上